

【1】診療及び保健予防事業については全病院、診療所において実施しており、入院施設をもたない診療所は法人のネットワークを活用して入院先を確保し、入院治療を行った。4 病院で協会けんぽの生活習慣病予防健診の受託医療機関であり、労働安全衛生法に基づく雇用者健診等を実施している。詳細は下記のとおりである。

事業分類	項目 / 年度		2024年度	
医療介護活動1	外来	患者件数	376,500	
		延患者数	510,536	
		1日患者数	1,958	
	在宅	訪問診療	29,660	
		管理患者数	2,012	
		在宅時医学総合管理	1,325	
	入院	患者件数	19,088	
		延患者数	238,919	
		1日患者数	654	
	医療介護活動2 *再掲	透析	外来	11,326
入院			2,291	
手術		全件数(うち全麻件数)	3,705 (2,038)	
		外科	1,066 (800)	
		整形外科	1,486 (978)	
		産科	139 (1)	
		婦人科	103 (64)	
		耳鼻咽喉科	36 (36)	
		眼科	534	
		皮膚科	0	
		内科	268 (126)	
		泌尿器科	70 (33)	
		その他検査等	3	
		病理解剖検査数	9	
分娩		分娩件数	190	
労災		外来患者数	6,853	
		入院患者数	349	
医療介護活動3		特診	整形外科	1院所/26人
			心臓	0院所/0人
	眼科		2院所/71人	
	甲状腺		4院所/224人	
	その他		4院所/238人(胃Fs等)	
	健診	成人病健診/特定健診	14,954	
		母親教室	0回/0人	
		安産教室	0回/0人	
		被爆者健診	37	
		乳児検診	356	
		企業健診	13,688	
		政府管掌健康保険健診	9,507	
		学校健診	2,879	
		学校健診(側わん)	758	
		学校健診(耳鼻科)	1,030	

【2】生活困難者のための、無料又は低額な料金で診療等を行う事業については、全ての病院・診療所で行なった。法人全体では、生活保護と無料・低額診療の患者の合計が総患者数の16.8%である。詳細は下記のとおりである。

院 所		2024年度 (2024年4月～ 2025年3月)				
					再掲件数	
		件数	日数	減免金額	新規	就学援助
中央病院	入院	253	7,067	25,675,618	108	3
	外来	512	3,831	17,653,813	116	47
	小計	614	10,898	43,329,431	224	47
札幌病院	入院	57	1,536	4,061,699	21	8
	外来	771	5,379	12,383,963	175	331
	小計	796	6,915	16,445,662	196	335
札幌西区病院	入院	61	3,460	7,762,570	39	1
	外来	93	772	2,102,706	45	12
	小計	143	4,232	9,865,276	84	12
苫小牧病院	入院	30	1,260	2,983,518	12	2
	外来	200	1,397	3,795,160	41	17
	小計	211	2,657	6,778,678	53	17
伏古10条クリニック		144	1,203	2,673,210	61	18
札幌北区ぽぷらクリニック		61	402	1,108,550	21	3
月寒ファミリークリニック		19	47	138,720	13	13
平和通クリニック		38	267	955,600	11	4
もみじ台内科診療所		22	203	801,490	4	0
札幌みなみ診療所		18	163	240,630	2	1
当別診療所		20	176	943,060	5	0
小樽診療所		46	448	1,202,940	1	4
余市診療所		18	172	270,110	3	6
くろまつないブナの森診療所	入院	11	349	484,820	0	0
	外来	59	824	1,324,814	6	0
	小計	59	1,173	1,809,634	6	0
室蘭診療所		16	162	563,820	0	0
厚賀診療所		34	484	762,713	8	0
浦河診療所		86	823	1,629,170	14	28
上砂川診療所		44	398	1,383,610	7	0
芦別平和診療所		22	190	783,523	5	0
老健柏ヶ丘	介護	7	217	715,373	5	0
西区病院介護医療院	介護	2	455	1,170,609	0	0
合 計	入院	412	13,672	40,968,225	180	14
	外来	2,223	17,341	50,717,602	538	484
	介護	9	672	1,885,982	5	0
	総計	2,420	31,685	93,571,809	723	488

* 統計件数は一人が入院・外来と両方で利用された場合は1件とする

2024年度 無料低額診療 統計

1. 保険	2024年度	
	件数	構成比
国保	961	39.7%
短期保険証	0	0.0%
資格証明証	1	0.0%
社保本人	459	19.0%
社保家族	329	13.6%
後期高齢者	652	26.9%
無保険	9	0.4%
その他	0	0.0%
介護保険	9	0.4%
合計	2,420	100%

2. 適用区分	2024年度	
	件数	構成比
1.無料診療	24	1.0%
2.一部負担金の全額免除	2,314	95.6%
3.一部負担金の一部免除	82	3.4%
合計	2,420	100.0%

3. 申請理由	2024年度	
	件数	構成比
1.低所得	1,705	70.5%
2.失業・倒産	10	0.4%
3.ホームレス	0	0.0%
4.病弱	0	0.0%
5.DV被害者	1	0.0%
6.外国人	23	1.0%
7.人身取引被害者	2	0.1%
8.就学援助世帯	472	19.5%
9.その他	207	8.6%
合計	2,420	100%

4. 新規利用者数	2024年度	
	件数	
	723	

5. 性別	2024年度	
	件数	構成比
男性	1,034	42.7%
女性	1,386	57.3%
計	2,420	100%

6. 年代	2024年度	
	件数	構成比
00代	86	3.6%
10代	117	4.8%
20代	70	2.9%
30代	164	6.8%
40代	294	12.1%
50代	366	15.1%
60代	403	16.7%
70代	556	23.0%
80代以上	364	15.0%
計	2,420	100%

7. 世帯	2024年度	
	件数	構成比
1人世帯	1,024	42.3%
2人世帯	757	31.3%
3人世帯	184	7.6%
4人世帯	261	10.8%
5人以上世帯	194	8.0%
計	2,420	100%

【3】第一種助産施設の運営については、札幌市内5箇所の病院の一つとして、経済的困難が理由で出産費用を準備できない方の分娩を取り扱った。入院助産施設のない市町村からも受け入れを行った。2024年度は190件を取り扱った。同病院は小児科の入院施設も有しており、疾病や障害のある新生児の一時対応を行い、周産期医療の一端を担っている。

【4】救急医療については、中央病院が2次救急指定病院に参加し、2024年度5,520台の救急車を受け入れた。札幌病院は救急医療体制における小児科に関わる輪番制に参加する医療機関として継続している。

【5】休日・夜間等の医療の供給については、4病院5診療所が夜間休日当番病院の輪番制に参加し、休日や夜間の医療供給を行った。また、3病院・12診療所において夜間診療を行い、日中の通院が困難な方の受診機会を確保した。

【6】災害医療については、中央病院が丘珠空港事故救急対応病院、札幌市の災害時基幹病院となっている。

- 【7】へき地医療については、厚賀診療所が引き続き北海道のへき地診療所に指定されている他、北海道緊急臨時的医師派遣事業に参加し、平取町国民健康保険病院へ医師を派遣した。
- 【8】難病者に対する継続的な医療については、財団法人北海道難病連が行なっている北海道からの委託事業「難病医療・福祉相談会」に継続的に医師を派遣している。
- 【9】卒後臨床研修指定病院の取り組みについては、1997年より臨床研修病院の指定を受けており、2024年度は11名の初期研修医の受け入れを行った。中央病院が基幹型となり、札幌病院・西区病院・苫小牧病院のほか9病院が協力型、診療所など21施設が協力施設となっており、北海道における医師養成の一翼を担っている。
- 【10】介護及び介護予防事業として老人保健施設柏ヶ丘を運営しており、2024年度の入所者数は延べ22,718人、短期入所の入所者数は延べ1,772人。病院での入院治療と在宅療養を橋渡しし、切れ目のない一体的なサービスを提供した。認知症対応型通所介護と通所リハビリテーションの2024年度延べ利用者は、それぞれ1,936人、9,978人である。当法人の老人保健施設では、社会福祉法に基づく生計困難者に対して、無料または低額な費用で介護老人保健施設を利用させる事業を行なっている。また、低所得者でも入所できるよう、保険の効かない利用料の部分を低く設定している。2024年度は生活保護受給者と無料・低額診療の利用者を合わせると、入所者の17.4%である。
- また、医療を必要とする要介護者の長期療養・生活施設として2020年10月より西区病院の1病棟を転換した介護医療院では、延べ14,678人を受け入れた。
- 【11】病児デイサービス事業については札幌病院に附設して札幌市の子育て支援事業である病児デイサービス事業を勤医協菊水こどもデイサービスセンターで運営している。2024年度は延べ142人の児童が利用した。
- 2023年12月より札幌市産後ケア事業に参加し、助産師が母親をサポートしている。
- 【12】衛生検査所の設置については、病理検査を扱っており、手術中の迅速病理診断も行い臨床機能の一部となっている。病理科の医師と研修医が合同で臨床病理カンファレンスを行い、臨床研修病院の機能を補完している。
- 【13】健康予防に関する知識の普及、啓蒙活動については、すべての病院・診療所で地域住民を対象とした無料の健康相談会を開催し、健康教育や保健予防の知識の普及、医療相談などを行った。2024年度は334回実施し、5,191人が参加した。内容は病気の予防、治療法、医療制度の理解の促進などである。講師は、医師、看護師、リハビリ技士、栄養士などの医療技術者やソーシャルワーカーが務めた。
- 【14】医療・福祉に関する調査研究については、日常の診療で得られた知見や独自の調査活動の成果をまとめ学会や研究会などで発表を行った。大学病院や医学部での先端研究と異なり、患者の生活や労働と疾病の関係、生活の質（QOL）の向上のためのケアなどを研究の対象としている。勤医協看護雑誌等も発行し、研究活動の成果を広く普及すると共に後継者の教育に活用した。研究にあたっては、患者の人権を尊重し、医療・生命の倫理を重視している。